

## 「平成30年度第2回座間市総合教育会議」会議録

1 日 時 平成30年11月14日（水） 午前9時30分

2 場 所 市民文化会館（ハーモニーホール座間）大会議室

3 構成員

市長、教育長、馬場教育長職務代理者、天野教育委員、小井田教育委員、鈴木教育委員

4 事務局及び教育委員会職員

企画財政部長、企画政策課長、企画政策係長、主事、スポーツ課長、子ども未来部参事兼保育課長、子ども政策課長、子ども政策係長、子ども育成課長、子ども育成係長、青少年課長、教育部長、参事兼教育総務課長、庶務経理係長、施設係長、学校教育課長、保健給食担当課長、教育指導課長、教育研究所長、生涯学習課長、図書館長

5 傍聴人 15人

6 議 題

<協議・調整事項>

座間市教育大綱改訂案について

7 会議録

（企画政策課長）

ただいまから「平成30年度第2回座間市総合教育会議」を開会します。

本日の進行を務めさせていただきます、企画政策課長の安藤です。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の会議次第に基づき、進めてまいります。

開会に際し、市長から御挨拶申し上げます。市長、よろしくお願いいたします。

（市長）

皆様、おはようございます。

平成30年度の第2回座間市総合教育会議の開催ということで、御挨拶申し上げます。

10月1日から新しく就任していただきました教育長を始め、4名の教育委員の皆様は御参集いただきましてありがとうございます。

去る8月21日に第1回座間市総合教育会議を開催し、4年間の教育大綱に従って進めて

まいりました市の取組を振り返り、委員の皆様にはさまざまな視点から御意見や御指摘、御感想などをいただいたところです。

委員の皆様のお意見を伺いながら、そして、新しい教育大綱の策定に当たっては、教育現場の校長先生方、教育長、教育委員はもちろん私共市長部局の企画政策課を中心に関連部局がこれについてしっかりと注視をし、振り返りを行いながらさまざまな改革、改善を行っていかねばいけません。このことから、意見聴取を行い、調整を図ってまいりました。

4年間という短い期間ではありましたが、この間においても座間市だけではなく、全国的に見ても教育の分野においてさまざまな新しい課題、問題点等が出てきているものと改めて実感しています。

この「総合教育会議」の場は、地方公共団体の首長が招集し、教育に関する大綱の策定、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策、何より児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置等について、首長と教育委員会が同じ方向性の下、相互に連携を取りつつ効果的に教育行政を推進していくために、協議・調整を行う場として設置しているものですが、改めてその意義を痛感しているところです。

本日の案件とさせていただいている座間市教育大綱の改訂については、先ほど申し上げたとおり、皆様からいただいた御意見や御感想、かくあるべきといった重要な御指摘について、教育部局と市長部局とが連携してこれらを盛り込みながら改訂案を作成してきたとの報告を受けています。

前回の会議を受けて、委員の皆様のお活発な議論を期待しています。よろしく申し上げます。

(企画政策課長)

ありがとうございました。

次に、次第2、本日の案件ですが、協議・調整事項が一件、内容は「座間市教育大綱改訂案」についてです。

本会議は、座間市総合教育会議設置要綱第3条の規定により、市長が議長になると思いますので、以後の進行は市長にお願いしたいと思います。

市長、よろしく申し上げます。

(市長)

それでは、規定に基づいて議長を務めさせていただきます。本日も活発な意見交換ができればと思いますので、よろしく申し上げます。

早速ですが、協議・調整事項「座間市教育大綱改訂案」について進めてまいります。

それでは、事務局から説明願います。

(教育部参事兼教育総務課長)

「座間市教育大綱改訂案」について【資料2 大綱全体】

- ・第2期教育大綱の期間を平成31年から平成34年までの4年間とし、今後の社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととした。
- ・本文について、前回の総合教育会議での各委員からの意見、市長部局の関係各課及び各小中学校長会からの意見を基に改訂案を作成した。

(教育指導課長)

「座間市教育大綱改訂案」について【資料2 個別施策】

- ・施策の方向(1)「思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成」に「『いのち』を大切に  
する心」の文言を加筆した。
- ・施策の方向(3)「健やかな体の育成」に「防災教育」の文言を加筆した。
- ・基本目標(1)「未来を拓くざまっ子づくり」の中に、「情報教育」について新たに項目  
立てした。さらに、施策の方向の中に、「情報教育」として施策の方向(6)「情報化・  
グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成」を新たに項目立てした。
- ・施策の方向(2)「書く力の向上を中心とする確かな学力の育成」に「主体的・対話的で  
深い学び」の文言等を加筆した。
- ・基本目標(1)「未来を拓くざまっ子づくり」の中に、「情報化・グローバル化社会に対  
応した人づくり」について新たに項目立てした。

(生涯学習課長)

「座間市教育大綱改訂案」について【資料2 個別施策】

- ・施策の方向(7)「生活を彩る生涯学習・スポーツ・文化の振興」に本施策の取組の場、  
拠点として具体的に施設名称を加筆した。
- ・施策の方向の中に、「家庭教育」として施策の方向(9)「教育の出発点である家庭教育  
への支援」を新たに項目立てした。

(図書館長)

「座間市教育大綱改訂案」について【資料2 個別施策】

- ・基本目標(2)「生涯にわたり健やかで活気あふれる人づくり施策の方向」に「読書」の  
文言を、施策の方向(7)「生活を彩る生涯学習・スポーツ・文化の振興」に「図書館」  
及び「読書」の文言を加筆した。

(スポーツ課長)

「座間市教育大綱改訂案」について【資料2 個別施策】

- ・施策の方向(3)「健やかな体の育成」及び(7)「生活を彩る生涯学習・スポーツ・文化の振興」について、現行どおりで推進していく。

(こども未来部参事兼保育課長)

「座間市教育大綱改訂案」について【資料2 個別施策】

- ・「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」の趣旨に基づき、一部を削除した。

(市長)

ただいま、事務局から座間市教育大綱改訂案について説明がありました。この改訂案は、前回の会議で委員の皆様から出された御意見や御感想及び各学校長の御意見などを踏まえて教育部と市長部局で協議して作成されたものです。

熟成されていると思いますが、改めて委員の皆様から御質問や御意見、御感想など出していただければと思いますのでお願いします。

(委員)

ここまで形にさせていただいたことに対し事務局に感謝します。ここまでの総じての感想になりますが、一言述べさせていただきます。

今回の改定案の修正に向けては、我々教育委員や行政サイドのみならず、教育現場からの御意見を交えながら進めてまいりました。それが、事務局のおかげでここまで形になってきました。これから取り組むべき課題に向けて、より実践的、实际的、そして、明確で分かりやすい内容に修正されつつあるのではないかと思います。

例えば、大きなところでは4ページの基本目標(1)「未来を拓くごまっ子づくり」の三つ目、社会、時代の流れに即した対応ということで、情報化・グローバル化社会に対応するということが加えられたところでは、実際に座間市では、国際親善大使とか小学校でのアメリカンスクールとの交流とか少しずつ進めている中で、ここではっきりと明記されたことは大きなことではないかと思います。これに伴い、6ページの施策の方向に(6)、新規に設けられた項目ですが、「情報化・グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成」ということで位置付けられたわけです。

また、施策の方向において担う主体がはっきりしたのではないかと思います。(1)から(6)までのそれぞれに「学校では」と主語がはっきりと入り、それから、(7)から(9)までは「市は」ということで、行政が担い手であるということがはっきりとされています。これに

よって担うべき主体がはっきりとされたことは、市民の皆様にも非常に分かりやすい内容になったのではないかと思います。

それから、施策の方向（9）、これも新しい項目ですが、教育の原点である「家庭教育」の重要性がはっきり抑えられたこと、これは大変大きかったのではないかと思います。

これまでに教育現場や行政が力を入れて一生懸命に取り組んできたこと、それから、今後取り組むべき課題がクリアに調整、整理され、そのことによってこれからの方向性、目標もはっきりと定まったのではないかと思います。

簡単ですが、私からは以上です。

（市長）

ありがとうございました。

それでは、ほかにいかがでしょうか。

（委員）

分かりやすく御説明いただきありがとうございます。

前回の会議の意見を踏まえてよく精査し、分かりやすくまとめていただきました。本当に感謝申し上げます。

そこで一つ意見ですが、基本目標（1）「未来を拓くしまっ子づくり」の丸の二つ目と三つ目、この順番を逆にしたほうが分かりやすいのではないかと思います。前ページの基本理念に書いてあるように、三つ目で「大きく変化しつつある社会」といったような内容があり、また、最後の五つ目で「危機管理体制」というような内容になっていますので、基本目標の順番においても三つ目を上にしたほうが分かりやすく理解できるのではないかという感想を持ちました。

同じように施策の方向についても、（6）「情報化・グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成」をできれば（3）か（4）のところに持っていくか、順番を入れ替えたほうが全体のまとまりが分かりやすくなるのではないかという感想を持ちました。

簡単ですが、以上です。

（市長）

ありがとうございました。

それでは、ほかにいかがでしょうか。

（委員）

私からは、感想を述べさせていただきます。

文章の校正など、さまざまな御苦勞があったことと思いますが、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

5ページからの施策の方向で、(6)の「情報・グローバル教育」と(9)の「家庭教育」をそれぞれ一つの独立した施策で示せたのは、大変良かったと思います。

6ページの施策(6)ですが、情報活用能力の育成や国際理解教育など、急速にグローバル化が進んだ現代で言語や文化が異なる相手を理解するために不可欠な教育であり、必ずやグローバル社会で貢献できる人材を輩出できると思います。

7ページの施策(9)ですが、現在、ひとり親家庭などで親が家にいないことが多いとか、生活に困窮しているなど、さまざまな家庭環境があり、子供たちの心のひずみや学力低下の一因にもなっていると思います。

フランスでは、来年度から義務教育が3歳からに引き下げられると聞いています。これに関してフランス大統領が「この子供たちの代で『貧困の連鎖』を止めたい。」と述べているようです。脳の発達や心の成長が著しく変化する乳幼児期が、いかに重要であるかが分かります。

今回一つの施策として明記し、全ての家庭に必要な応じた教育支援をすることで、豊かな心の育みと学力向上につながると考えます。

以上です。

(市長)

ありがとうございました。

それでは、ほかにいかがでしょうか。

(委員)

教育委員会だけではなく市長部局の方々とも協力され、先生方の意見も取り入れて全体として良かったのではないかと考えています。

少しだけ気になったところがありまして、一つは、3ページの基本理念の下から二つ目、細かいところですが、以前は「ざまっ子」という表現の「ざま」が漢字だったと思います。ひらがなに直したのは、「ひまわりプラン」ではひらがなになっていたかと思うので、それを基に直したのではないかとと思います。

そうすると、「育つざまっ子」というのが、「ざまっ子」という言葉が分かる人には良いのですが、そうでない人には分かりづらいと思うので、例えば、ざまっ子を括弧に入れるなどしてはいかがでしょうか。逆に次の「ふるさと」は、「ふるさと」という言葉は大事ですが、点の後で改めて始まるし、次の「座間」という言葉と連動していますので、この括弧はなくしてひらがなのざまっ子を括弧で括ったほうが良いのではないかと思いました。

せっかく変えてくださったのは、意図としては整合性を図る意味があり良いと思いますが、

最初に出てきたところなので、御検討願います。

それに連動して、例えばその後の4ページで「未来を拓くざまっ子づくり」とありますが、これはひらがなで良いと思いますし、その中身で2行目に座間の子どもたちとして括弧書きでざまっ子があり、この辺りの扱いは非常に丁寧だと思います。しかし、最初に出てきた3ページのところは、表記を漢字からひらがなに変えたことからのことなので、悪いわけではないのですが、少し気になりました。

もちろん、全体として非常によくできています。それで、私が一番感じるのは7ページの最後、「家庭教育」の重要さというのは本当に大切に、よく言われますが小さな子供のときに親やその他の大人たちから愛情を得ることによって根拠なく自信を持つことができる、自己肯定感を得られる、それがすごく大事です。

ただ、残念ながら少しこの文章が硬いです。しかも、主語から動詞までが少し離れています。目的の「家庭教育を」から、文章が長すぎて読んですぐ頭に入るかという点と難しいと思います。もう少しこなれた文章にしていただければ、なおさら教育大綱が先生方だけではなく一般の家庭の方、その他の方にも御覧いただけるとと思いますので、もう少し検討されて、なるべく一般の方に分かりやすくしていただけると良いと思います。

以上です。

(市長)

ありがとうございました。

それでは、教育長お願いします。

(教育長)

座間市教育大綱ですが、本日市内の小中学校の校長先生方にもたくさんお出でいただいています。昨日、東中学校に訪問させていただき、学校経営について少しお話をしました。そのときに、しっかりと座間市教育大綱を位置付けていただき、「ひまわりプラン」とともに位置付けていただいた上での「学校経営」ということをお話いただきました。

これは東中学校だけではなく、10月から何校か訪問させていただきましたが、しっかりと座間市教育大綱を位置付けた上で、学校経営をしていただいているということに、まずは感謝を申し上げるとともに、こういう流れをしっかりと作っていただきたいという感想です。

そして、内容がより充実してきて、「飾り物」ではなくてしっかりとこれを生かしていくということがとても大切だと思っています。そういう意味で、ここで更に検討を重ねていくということは、とても良かったと思っています。

それで、細かい話になりますが、少し御検討いただきたいところが2点あります。本当に細かいところで、私の判断が正しいかどうか判断していただきたいと思っています。

まず3ページ目、基本理念の二つ目のところです。新たに付け加えられたところに「子供」という表記が2か所ありますが、この「供」がほかの部分ではひらがなで「ども」となっています。ここだけ漢字を使われているので、私もいろいろ調べてみました。

文科省において、これは差別表現ではないということで公文書での使用では漢字の「子供」で統一されていると書かれていました。しかし、多くの場合、一般的に教育現場においてもひらがなの「ども」を使っていますので、大綱ではどちらかに統一したほうが良いのではというのが一点目です。

それから5ページ目、施策の方向の中の二つ目、「書く力の向上を中心とする確かな学力の育成」の中の丸の二つ目です。「知識を活用して課題を解決するために必要な、柔軟性のある思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育てます。」という文章ですが、まさに新学習指導要領の方向性を示しているものだと思います。ここで「思考」、「判断」、「表現」という言葉を使っていますが、最初に来る「知識」が単に知識だけで良いのか、ワンセットになっている「知識・技能」ということで知識・技能という言葉を入れたほうが良いのかどうか、御検討いただければと思います。

そして、実は私は今回初めて教育大綱の検討をさせていただきましたが、教育指導課長に質問したことがあります。この中に特別なニーズに対応した教育の推進ということで、障害児教育の視点、個々の子供の実態に応じた丁寧な指導、その辺りの観点が内容として含まれているのかどうかということで質問させていただきました。と言うのは、学校教育において保護者の中にはいろいろな視点、それぞれの個々に応じた教育を進めてほしいというような願いを持っている方が多いので、その観点が入っているのかどうかという確認を教育指導課長にしました。

そうしたところ、4ページの基本目標(1)「未来を拓くごまっ子づくり」の一つ目の丸の二段目、「座間の子どもたち(ごまっ子)一人ひとりが個性を活かして自己実現を」という、この一人ひとりが個性を生かせるというところでこの視点を含むことができるのではないかというお話をいただきました。この辺りも少し話題にさせていただけると有り難いと思います。

以上です。

(市長)

ありがとうございました。

委員の皆様から御意見をいただきました。更に加えて何かありますか。

〈※特になしの声〉

特によろしいですか。かなり熟成をした中身にさせていただいたと思います。また、教育長



からの御意見は、重要な指摘だと思います。これについては、これから市民の御意見も聴取してまいります。この辺りについては是非前向きに各委員からいただいた御意見を検討していただき、それをまた反映していただきたいと思っております。

それでは、特になさいますので今後の進め方などについて、事務局から説明願います。

(教育部参事兼教育総務課長)

【今後のスケジュール説明】

ただいまの事務局からの説明によると、本日委員の皆様からいただいた御意見などを基に、事務局で一部修正を加え、パブリックコメントを実施して市民からの御意見を聴取していく。そしてそれを反映させたものについて取りまとめを行い、次の総合教育会議にという流れにしたいということです。

委員の皆様からいただいた御意見、そして、更に市民からの御意見を反映させれば、更に熟成したものになると思っております。

こうした流れで進めていくということで、いかがでしょうか。

〈※賛同の声〉

ありがとうございます。

それでは、教育大綱に関してはそのように進めていきたいと思っております。

本日の案件は以上ですが、次第3「その他」として、何かありますか。

〈※特になしの声〉

よろしければ、進行を事務局に返したいと思っております。

(企画政策課長)

本日はお忙しい中、御参集いただき、ありがとうございました。本会議の会議録は、後日、市のホームページ上で公開させていただきます。

また、第3回総合教育会議の開催日時は、決まり次第追って御連絡します。

以上で「平成30年度第2回座間市総合教育会議」を閉会します。

お疲れ様でした。